

全日中事務局だより

教育関係「二三団体「全国集会」が東京で開催される

▼令和五年十一月十四日、東京都千代田区永田町にある「星陵会館」において、盛山正仁文科大臣出席のもと、教育関係「二三団体「全国集会」が開催された。



▼この「全国集会」は、教育関係団体連絡会（教育関係「二三団体」が主催し、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革の推進等を求める集会」として例年、開催されている。

▼教育関係「二三団体」は次の団体で構成されている。

（順不同）（公社）日本PTA全国協議会、（公社）日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協会、中核市教育長会、全国町村教育長会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校長会、全国連合退職校長会、全国公立学校教頭会、全国特別支援教育推進連盟、全国へき地教育研究連盟、日本連合教育会、全国養護教諭連絡協議会、全国公立小中学校事務職員研究会、（公社）全国学校栄養士協議会、日本教職員組合、全日本教職員連盟、日

本高等学校教職員組合、全国教育管理職員団体協議会

▼これらの団体名を御覧いただいておりますが、保護者、教職員団体、校長会・教頭会等の管理職団体、教育長及び教育委員会等、多岐にわたっており、「教育」に関わりのあるさまざまな団体で構成されている。読者の中には複雑な思いをされている方もいらっしゃるかと推察される。

▼この全国集会では、参加者において「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革の推進等を求めるアピール」を採択し、広く国民に理解と支援をいただ



るよう呼びかけることとしている。

▼しかし、冒頭にあるよう「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革等」を進めていくためには、法整備はもろろんのこと、何より財政的な基盤がしっかりと確立されないと話にならない。

▼すでに、来年度の予算に関わって財務省と各省庁との間では熱い攻防を経て、政府案は確定している。これから国会での論戦が始まる。

▼今後、全日中としては少人数学級の計画的な整備を図っていくことや、教員の業務を軽減するための支援員の全校配置、さらに、優れた教員を確保するための処遇改善など、国民全体の声として、国に対して訴えていかななくてはならない。

▼当日は、各団体から二七〇人を超える参加者が会場に集った。また、当日は盛山文科大臣に加えて青山周平副大臣、安江伸夫政務官も参加された。さ

らに、各政党代表者として、自由民主党からは政務調査会長代理 柴山昌彦衆議院議員、公明党からは、文部科学部会長 浮島智子衆議院議員、立憲民主党からは、政務調査会長補佐 荒井優衆議院議員、日本維新の会からは、文部科学部会長 金子道仁参議院議員、国民民主党からは、政務調査会長代理 西岡秀子衆議院議員、社会民主党からは、副党首 新垣邦男衆議院議員が参加され、挨拶を頂いた。

▼参加された各政党代表の国会議員からは、学校現場での教職員の働き方、教員不足、子供たちの不登校、さらには教職を目指す志望者の激減といった様々な課題を取り上げ、何とかして解決に結び付ける努力をしていく決意が述べられた。

▼最後に、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革の推進等を求めるアピール」を全国連合小学校長会の植村洋司

会長が読み上げ、参加者により採択された。その後、各団体が衆参の国会議員会館を訪問し、そのアピール文等の文書を持参し、要請活動を展開した。

▼このアピール文は、本会HPの会員ページにアップされているので、是非、御一読いただけると幸いです。

(事務局長 富士道正尋)

